

計測・試験設備展示会

56社出展、深圳で開幕

【深圳（中国）】茂木朝日 日本電計の中国法人、電計貿易（上海）と日刊工業新聞社が共催する第17回「深圳共同計測・試験設備展示会」が26日、中国・深圳市のセントーサホテル翡翠店で開幕した。開催期間は27日まで。2日間で約1200人の来場を見込む。日本電計の柳丹峰社長は「電気・電子業界が伸び盛りの中国市場でのさらなる需要拡大を見込む」と期待を込めた。

今回、出展するのス」を出展。佐藤郁夫社長は「今回の出展などを手がける56社。セリック（東京都中央区）は逆光の環境下でも対象物を照らせる人工太陽照明灯「XE LIOS（ゼリオ（東京都千代田区）は

多くの来場者に手応え

見込んでいる。

電計貿易・本社共催



ハイオスの製品説明に
聞き入る来場者

G-01など、個性あ
ふれる展示となつて
いる。技術セミナーも開
き、2日間で会計8講
演を行う。27日はSY

という。リーダー電子
の薄井兼一営業部市場
開拓グループマネージ
ャーは「来場者に興味
を持つてもらつてあるレーザ雑音測定の最
と感じる」と手応えを
語る。

このほか、ハイオス
(千葉県松戸市)が出
展する初心者でも高精
度なネジ締めができる
(電計貿易)といふ。今
回、深圳で開催するこ
とで、華南地区(惠州、東莞、珠海、広州)
から技術者らの来場を

クラップ不要で位置決
め調整後に動かない
ように、自動車産業の
「フィックスステー
ト」を出展する。遠藤
は「昨年の電計貿易主
催の上海での展示会出
展は言葉の壁でためら
り上げを伸ばす機会に
できれば」と語る。

に来場者でにぎわつて
おり、「開場時から想像
以上に来場者が多い」
と、深圳で開催するこ
とで、華南地区(惠州、東莞、珠海、広州)
から技術者らの来場を